

A. 日 時 2014年4月16日(水曜日) 17時30分～19時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本他、計9名

D. 提出資料 (提出委員名も記入して下さい)

No. 01-01 : 「建築物の振動に関する居住性能評価指針」の構成について

No. 01-02 : 居住性からみた木造大スパン床の歩行振動の評価法に関する基礎的研究

No. 01-03 : 振動の継続時間が居住性能に及ぼす影響に関する研究

E. 審議事項

1. 議論

A) 「建築物の振動に関する居住性能評価指針」の構成について松本主査より報告

※ 本WGの運営方針について

→ 枠にとらわれず自由に議論を行うこと

B) 今後の検討課題(箇条書き)

※ これまでに得られた知見の集積に努める

→ 対象とする研究は、査読付き論文等に限定せずに専門家間で一定のコンセンサスを得られたものとする

→ 既往の研究を「まとめ」、指針に掲載する項目に関してその根拠となる既往研究を明示可能とする

→ 情報の共有にも留意する

※ 欠落している分野の研究にも積極的にアプローチする

→ 継続時間の影響等

→ 変動する振動に関する官能検査を検討中

→ ブランク部分を埋める実験の条件・調査項目等を検討する

※ 新指針についての検討事項

→ 評価指針として(例えば)平均知覚閾を示す必要があるのか

→ データ数の多い正弦波振動を対象とした研究のみならず、ランダム/変動振動も対象とする

→ 継続時間の影響を加味するのか

→ 評価軸(レイヤ)を複数有する評価とするのか

